

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number ; 02-297287

(43)Date of publication of application : 07.12.1990

(51)Int.Cl.

G06F 15/20

(21)Application number : 01-074232

(71)Applicant : SEIKO EPSON CORP

(22)Date of filing : 27.03.1989

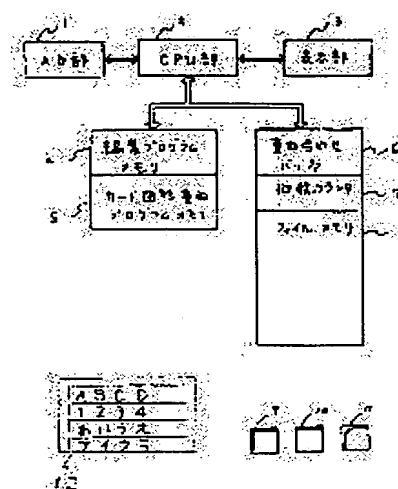
(72)Inventor : IWANAMI MASAYASU

(54) DOCUMENT PROCESSOR

(57)Abstract:

PURPOSE: To easily discriminate the display of the summary of plural files from that of the content of the files by an operator by superimposing a card graphic at every row when the summary of the plural files is displayed, and displaying the content of the files as it is when they are displayed.

CONSTITUTION: When the leading part of each file is displayed, the character of the card graphic 9 is superimposed. It is applied also on the graphic 11. The character of the graphic 10 is superimposed on second and after digits. Thereby, the picture of the graphic 12 can be displayed. In other words, a digit counter is set at 1. One character is taken out from a file memory 8, and is developed at a registration buffer 6 as an image. Also, the overwrite of the graphic 9 is further performed when the number of digits shows one, and that of the graphic 10 when it shows the number other than one. A synthesized character is sent to a display part 3. Next, the number of digits is increased by one. When the number of digits shows the final of a display picture, the number of digits is returned to one, and a display position is moved to the next row, then, such operation is repeated. In such a way, it is possible to easily discriminate the picture displaying the content of the file from the summary display of the plural files.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

BEST AVAILABLE COPY

⑤ Int. Cl.⁵
G 06 F 15/20識別記号 庁内整理番号
5 8 6 B 7165-5B

⑬ 公開 平成2年(1990)12月7日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

⑭ 発明の名称 文書処理装置

⑮ 特 願 平1-74232

⑯ 出 願 平1(1989)3月27日

⑰ 発 明 者 岩 波 正 恭 長野県塩尻市大字塩尻町390番地 塩尻工業株式会社内

⑱ 出 願 人 セイコーエプソン株式 東京都新宿区西新宿2丁目4番1号
会社

⑲ 代 理 人 弁理士 鈴木 喜三郎 外1名

明 細 書

1. 発明の名称

文書処理装置

2. 特許請求の範囲

少なくとも

- a) キーボードなどの入力部と、
- b) 入力されたデータを記憶する記憶部と、
- c) 液晶画面などの表示部と、
- d) 全体を制御するCPU部を持つ文書処理装置において
- e) 複数ファイルの一覧を表示するときはカード図形を1行ごとに重ねる処理をおこない、
- f) ファイルの内容を表示するときはそのまま表示することにより、複数ファイルの一覧表示とファイルの内容表示との区別を操作者が容易に識別できることを特徴とする文書処理装置。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は、文書処理装置に関し、特に表示画面の利用方式と複数ファイルの表示方式に関するものである。

〔従来技術〕

従来文書処理装置の複数ファイルの一覧を表示するときは、画面に「一覧表」などのタイトルを表示していた。特に表示行数が数行程度の表示装置を備える文章処理装置においては、各ファイルの先頭データを行ごとに表示するなどしていた。

〔発明が解決しようとする課題〕

従来技術では画面の一部がタイトル行として使われ無駄になっていた。特に機器を小型化する場合、障害になりタイトルを表示しないなどしていた。それで操作者が見ている画面が内容表示なのか一覧表なのか、わかりずらかった。

本発明はこのような問題点を解決するためのもので、その目的とするところは、特に数行程度の表示装置を備える装置で、一覧表の表示と内容表

示を区別することを容易にし、画面を有効利用することを目的としている。

〔課題を解決するための手段〕

上記課題を解決するために、複数ファイルの一覧を表示するときはカード図形を1行ごとに重ねる処理をおこない、ファイルの内容を表示するときはそのまま表示することにより、複数ファイルの一覧表示と、ファイルの内容表示との区別を操作者が容易に識別できることを特徴としている。

〔実施例〕

以下に本発明の一実施例を図面に基づいて説明する。第1図は本発明にかかる文書処理装置のブロック図の一例、第2図は本実施例の画面の一例である。図中1はキーボードなどの入力部、図中2は全体を制御するCPU部、図中3は液晶画面などの表示部であり、編集プログラムメモリ(図中4)、カード図形重ねプログラムメモリ(図中5)、重ね合わせバッファ(図中6)、桁数カウンタ(図中7)、ファイルメモリ(図中8)より構成される。入力部より入力されたデータは編集

プログラムにしたがい、CPU部がファイルメモリに蓄える。蓄えられたデータは複数の文章(ファイルと呼ぶ)でできているとする。ファイルメモリは第4図のような内容になっているとする。特に表示画面が小さい装置では内容がどうなっているか一度に表示することは困難である。それで各ファイルの最初の部分を第3図のように一覧表示することが必要である。ところが第3図は、内容を表示した第5図とはっきり識別することが困難である。

そこで図中5のカード図形重ねプログラムにしたがい、各ファイルの最初の部分を表示する際、第6図のようなカード図形を重ね書き表示する。各行の1桁目は第6図の9の文字を重ねる。この文字は第6図の11のようでも良い。2桁目以降は第6図の10の文字を重ねる。以上の処理手順により第2図のような画面が表示される。

カード図形重ね合わせ手順を第7図に従い詳しく説明する。桁数カウンタ(図中7)を1にする。ファイルメモリ(図中8)より1文字取り出し重

ねバッファ(図中6)にイメージとして展開する。桁数が1なら第6図9を、桁数が1でないなら第6図10をさらに重ね書きする。合成した文字を表示部に送る。桁数を1増やす。桁数が表示画面の終わりなら桁数を1に戻し、表示位置を次の行にする。以上を繰り返す。

以上のカード図形発生の手順は例であって、他の方法でも良い。たとえば文字を全て書いたあとに、第6図9、10の文字を重ねていたり、または線画によって描いても良い。重ね合わせバッファは表示部が持っていても良い。

一方ファイルの内容を表示する場合は、カード図形を重ねず、そのまま表示する(第5図)。

〔発明の効果〕

以上述べた本発明によれば、ファイルの内容表示と複数ファイルの一覧表示との画面の区別を操作者が容易に識別でき、特に数行程度の表示装置を備える文書処理装置で、画面を有効利用することができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例のブロック図。

第2図は本発明の一実施例のファイル一覧表示画面図。

第3図は従来のファイル一覧表示画面図。

第4図は記憶部の内容表示画面図。

第5図は内容表示画面図。

第6図は本発明の一実施例に於けるカード図形を示す図。

第7図は本発明の一実施例に於けるカード図形発生手順図。

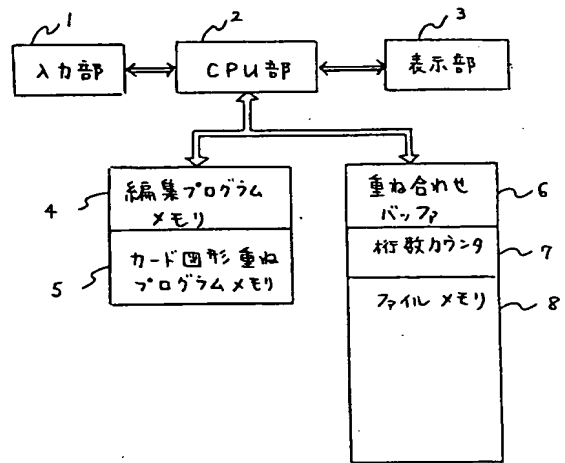
- 1 . . . 入力部
- 2 . . . CPU部
- 3 . . . 表示部
- 4 . . . 編集プログラム
- 5 . . . カード図形重ねプログラムメモリ
- 6 . . . 重ね合わせバッファ
- 7 . . . 桁数カウンタ
- 8 . . . ファイルメモリ
- 9 . . . 1桁目に重ねる図形例

1 0 . . . 1 桁目以外に重なる図形例

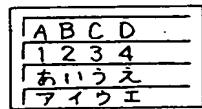
1 1 . . . 1 桁目に重なる図形例

以 上

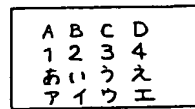
出願人セイコーエプソン株式会社
代理人弁理士鈴木喜三郎(他1名)



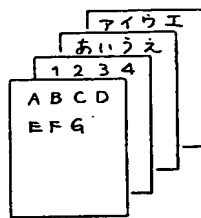
第1図



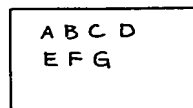
第2図



第3図



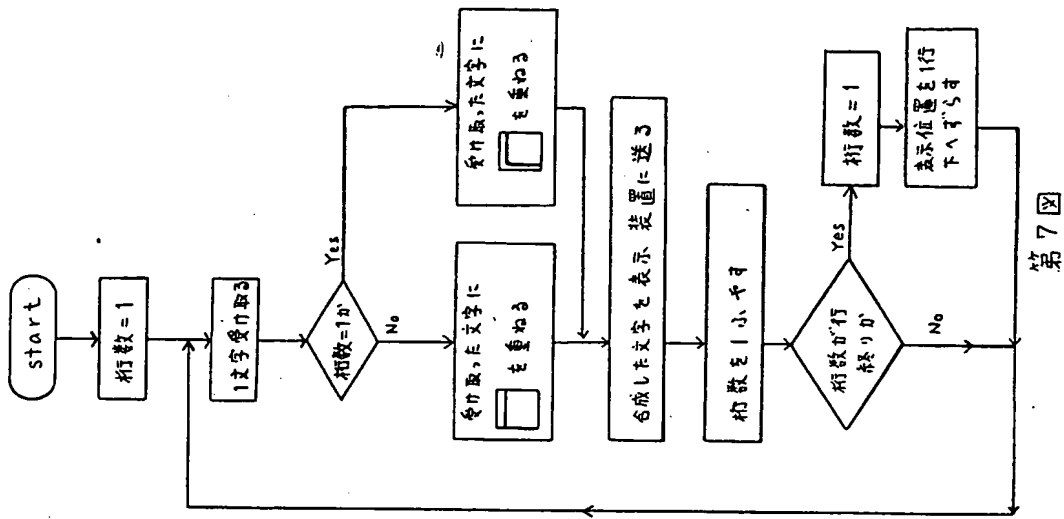
第4図



第5図



第6図



第7図